SSBJ

サステナビリティ基準委員会の概要

2022年7月1日

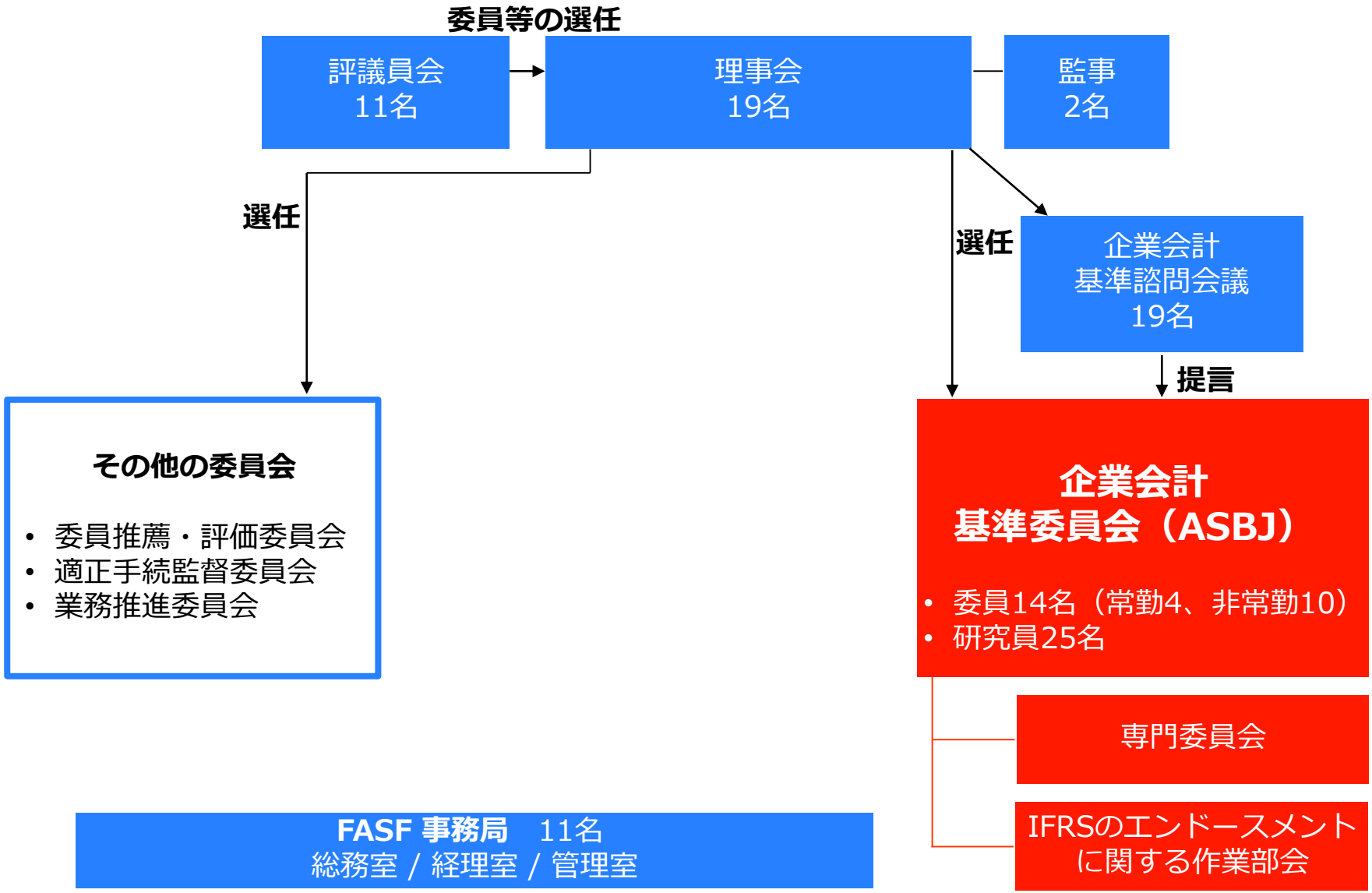
サステナビリティ基準委員会　委員長
川西　安喜

目次

1.　財務会計基準機構（FASF）
2.　サステナビリティ基準委員会（SSBJ）
3.　SSBJ設立準備委員会の活動
4.　SSBJの活動方針
5.　新ロゴ等のご紹介
付録：ISSBの概要

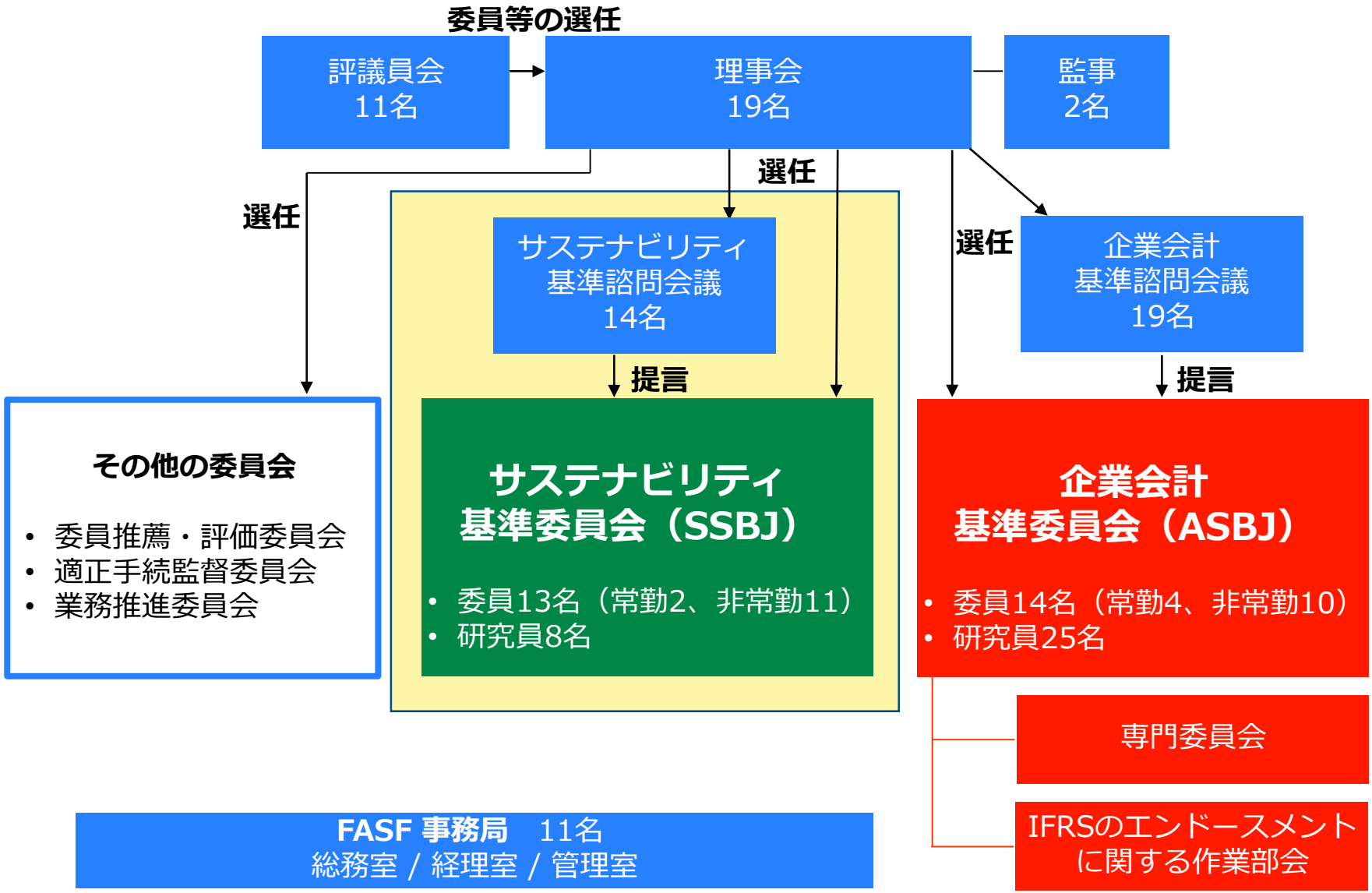
1. 財務会計基準機構（FASF）

これまでのFASFの組織構造



© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

今後のFASFの組織構造



© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

FASFの概要(1/2)

1. 財団の名称：
公益財団法人 財務会計基準機構
英文呼称：Financial Accounting Standards Foundation（略称：FASF）

2. 所在地：
東京都千代田区内幸町2-2-2　富国生命ビル20階

3. 設立日：
財団法人の設立　　：2001年7月26日
公益財団法人への移行：2009年11月2日

4. 基本財産：10億円

5. 事業規模：17億円（2022年度経常費用合計予算額）

6. 会員の状況（2022年6月30日現在）：

- 法人会員　3,997法人　4,838口
  （うち上場会社 3,683法人（加入率約95%）監査法人等　80法人）
- 個人会員　258名

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

FASFの概要(2/2)

7. 事業内容：

- 一般に公正妥当と認められる会計基準及びサステナビリティ報告基準の調査研究及び開発
- 国際的な会計基準及びサステナビリティ報告基準の開発への貢献
- ディスクロージャー及び会計に関する諸制度の調査研究
- 上記事業の成果を踏まえた提言及び広報・研修活動

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

IFRS財団との対応関係

	国際的な基準の開発		我が国における基準の開発	
監督	IFRS財団		FASF	
基準設定主体	IASB	ISSB	ASBJ	SSBJ
目的	IFRS会計基準の開発	IFRSサステナビリティ開示基準の開発	・我が国の会計基準の開発 ・国際的な会計基準の開発への貢献	・我が国のサステナビリティ開示基準の開発 ・国際的なサステナビリティ開示基準の開発への貢献

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

2. サステナビリティ基準委員会（SSBJ）

SSBJ設立の経緯

- IFRS財団等を含む国際的なサステナビリティ開示基準に関する議論の状況、国内の利害関係者からの要望等を踏まえ、2021年10月にFASFの定款を変更し、第3条（目的）及び第4条（事業）にサステナビリティ開示基準に関する事項を追加
- 2021年12月のFASFの理事会において、**2022年7月1日**に**SSBJ**を設立することを決議
  - 同日、国際的な動向に適時に対応するため、**SSBJ設立準備委員会**の設置を決議
- **2022年1月**に**SSBJ設立準備委員会**が発足、2月より審議を開始
  - 2022年3月まで、IFRS財団の技術的準備ワーキング・グループのプロトタイプ（基準の試作品）に関する審議を実施
  - 2022年4月から6月まで、ISSB公開草案に関する審議を実施
- 2022年5月のFASFの理事会において、**SSBJ**の委員長及び委員、並びに、**サステナビリティ基準諮問会議**の議長及び委員を選任

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

SSBJとASBJ（1/2）

	SSBJ	ASBJ
目的	◆ 国内のサステナビリティ開示基準の開発 ◆ 国際的なサステナビリティ開示基準の開発への貢献	◆ 国内の会計基準の開発 ◆ 国際的な会計基準の開発への貢献
所在地	FASF内（東京都千代田区内幸町）	同左
委員	委員13名（うち常勤2名）/定員15名	委員14名（うち常勤4名）/定員15名
作成者	5名（うち金融機関所属3名）	3名
利用者	2名	4名
実務家	4名（公認会計士）	5名（公認会計士）
学識経験者	2名	2名
委員任期	3年（3期限度、再任可）	3年（3期限度、再任可）
定足数	原則5分の3以上の出席	原則5分の3以上の出席
議決要件	原則5分の3以上の多数	原則5分の3以上の多数

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

SSBJとASBJ（2/2）

	SSBJ	ASBJ
作業部会 専門委員会	現時点では該当なし	◆ IFRSのエンドースメントに関する作業部会 ◆ 13の専門委員会 ①実務対応 ②金融商品 ③リース会計 ④企業結合 ⑤退職給付 ⑥連結・特別目的会社 ⑦収益認識 ⑧ASAF対応 ⑨保険契約 ⑩税効果会計 ⑪IFRS適用課題対応 ⑫ディスクロージャー ⑬料金規制会計
諮問会議	サステナビリティ基準諮問会議 ◆ 目的 SSBJの審議テーマ・優先順位等、SSBJの審議・運営に関する事項について審議し、その審議状況等について理事会に報告 ◆ 委員14名/定員20名 ◆ 任期2年（3期限度、再任可）	企業会計基準諮問会議 ◆ 目的 ASBJの審議テーマ・優先順位等、ASBJの審議・運営に関する事項について審議し、その審議状況等について理事会に報告 ◆ 委員19名/定員20名 ◆ 任期2年（3期限度、再任可）
研究員	8名	25名

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

SSBJ委員（1/2）

（委員長）　　（敬称略、2022年7月1日時点）

常勤	川西　　安喜	企業会計基準委員会　委員長（常勤）

（委員）

常勤	中條　　恵美	企業会計基準委員会　委員（常勤）
非常勤	井口　　譲二	ニッセイアセットマネジメント株式会社 チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー 執行役員 統括部長
	沖　　宏治	MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 総合企画部部長 兼 サステナビリティ推進室長 三井住友海上火災保険株式会社 経営企画部部長 兼 サステナビリティ推進チーム
	勝部　　安彦	東京電力ホールディングス株式会社 経営企画ユニット ESG推進室長
	川那部　留理子	株式会社大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs推進室 室長
	菊池　　勝也	東京海上アセットマネジメント株式会社 理事 責任投資部長 兼 オルタナティブ責任投資部長

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

SSBJ委員（2/2）

（続き）　（敬称略、2022年7月1日時点）

非常勤	阪　　智香	関西学院大学商学部 教授
	高村　　ゆかり	東京大学未来ビジョン研究センター 教授
	藤本　　貴子	有限責任監査法人トーマツ パートナー
	三宅　　康秀	日本製鉄株式会社 財務部部長
	宮坂　　充	株式会社三菱UFJ銀行 経営企画部 サステナビリティ企画室 室長
	森　　洋一	日本公認会計士協会 テクニカルディレクター

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

3. SSBJ設立準備委員会の活動

SSBJ設立準備委員会の活動の概要

- ISSB公開草案の内容の周知
  - ISSB公開草案（次頁）の日本語訳の作成
  - 当財団のホームページにおけるISSB公開草案の解説動画等の公開
  - ISSB公開草案の内容を紹介するセミナーへの講師派遣
- ISSB公開草案に対する意見の集約
  - SSBJ設立準備委員会における審議
    - 2022年2月から3月：
      プロトタイプに関する予備的見解、方向性の合意形成
    - 2022年4月から現在：
      コメント・レター案に対するコメント・レターの審議
  - 関係者に対する意見聴取（アウトリーチ）
    - 2022年6月中旬から7月上旬：
      主要な産業団体を含め実施中

SSBJは、SSBJ設立準備委員会における議論を踏まえ、コメント期限である7月29日までにコメント・レターをISSBに提出する予定

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

ISSB公開草案の概要（1/2）

SSBJ

スケジュール

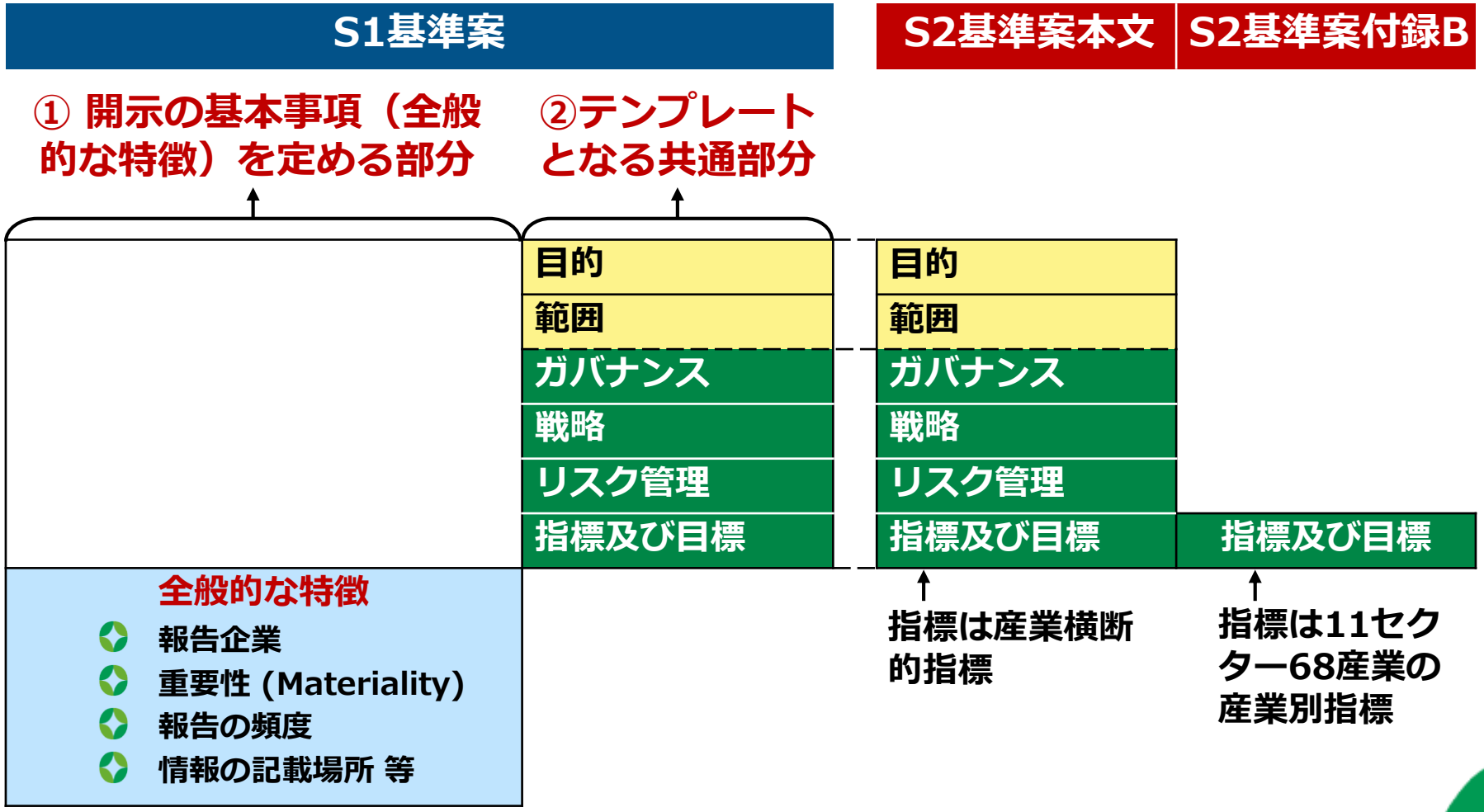
- 公表日　　：2022年3月31日
- コメント期限　：2022年7月29日
- 最終基準化目標：2022年中
- 適用開始日　　：未定（適用日もコメント対象）

内容

- IFRS S1号「サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的要求事項」（S1基準案）
  - IFRSサステナビリティ開示基準の共通の表示基準
- IFRS S2号「気候関連開示」（S2基準案）
  - TCFD提言に基づく気候関連の開示要求
- IFRS S2号「気候関連開示」付録B「産業別開示要求」
  - S2基準案の付録で提案されている、SASBスタンダードに基づく気候関連の産業別開示要求（11セクター・68産業）

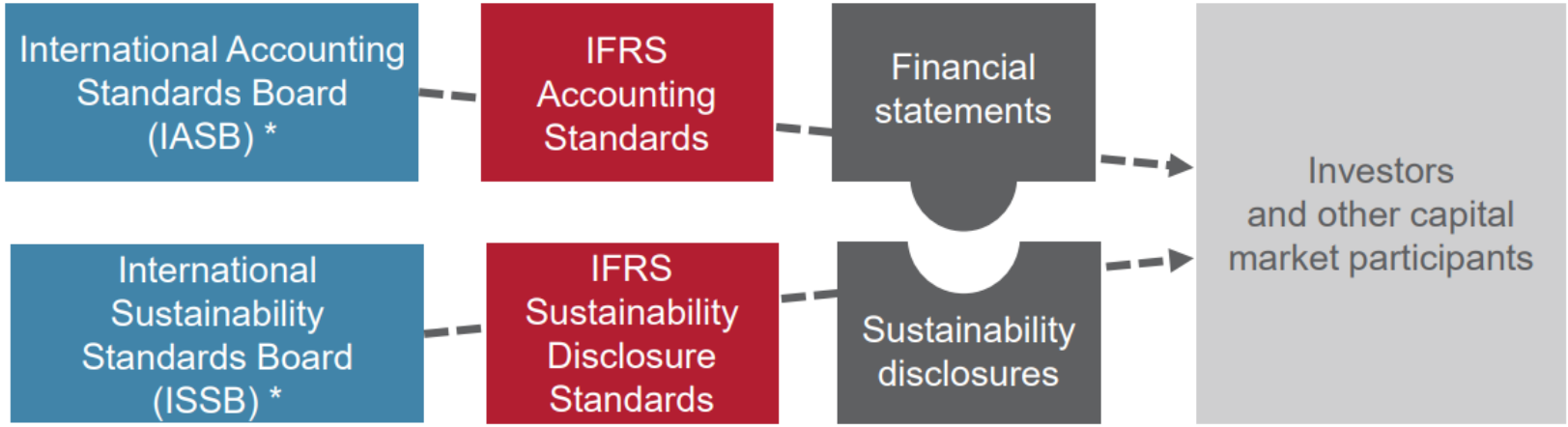
© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

ISSB公開草案の概要（2/2）



© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

ISSBとIASBのコネクティビティ



- ISSB公開草案は、サステナビリティ開示は財務諸表を補完するものと位置付けることを提案
- ISSBとIASBはそれぞれ、独立の組織として基準開発を行う
  - ただし、それぞれの基準に基づいて提供される情報が相互に補完しあうことを意識して基準開発を行う
  - このため、ISSBはIASBと緊密に協力し、IFRS会計基準とIFRSサステナビリティ開示基準との間のコネクティビティを確保する

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

（出典）IFRS財団ホームページより当委員会事務局作成

４．SSBJの活動方針

国際的な意見発信のアプローチ

SSBJ

- コメント・レターの提出
  - IFRS財団、ISSB又はIASBから公表された主要なサステナビリティ開示基準に関するデュー・プロセス文書※に対して、原則としてコメント・レターを提出
  - 上記以外の団体から公表されたデュー・プロセス文書に対して、必要と認められる場合には、コメント・レターを提出

    ※ディスカッション・ペーパー、公開草案、情報要請等、一般からコメントが募集されている文書
- 国際的な会議への参加
  - 2022年5月よりSSBJ設立準備委員会がISSBのJurisdictional Working Groupのメンバーとして参加
  - ISSBのSustainability Standards Advisory Forum (SSAF)のメンバーに応募する予定
  - 他国の設定主体との連携も模索する予定

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

国内基準開発のアプローチ

SSBJ

SSBJが開発するサステナビリティ開示基準の法令上の枠組み等については、今後当局にて検討予定

2022年6月13日公表
金融審議会 ディスクロージャーワーキング・グループ報告（一部抜粋）

SSBJ設立準備委員会の活動を土台に、本年７月には SSBJ が設立される予定であるところ、SSBJには、国際的な意見発信や我が国におけるサステナビリティ開示の具体的内容を検討するなどの重要な役割が期待されている。当ワーキング・グループにおいては、今後のSSBJによるサステナビリティ開示の具体的内容についての検討成果などを踏まえ、SSBJがその役割を一層積極的に果たせるよう、改めてその取扱いを議論する必要がある。その際、企業会計基準やその設定主体である企業会計基準委員会（ASBJ）が法令上の枠組みの中で位置付けられていることを参考としつつ、SSBJが策定するサステナビリ ティ開示の具体的内容やSSBJ自身について、法令上の枠組みを含めて、どのように位置付けるかが論点となる。なお、仮に法令上の枠組みの中でSSBJを位置付ける場合、公正・透明な組織運営や独立性が確保されているか、具体的開示内容の検討に際して適切なデュー・プロセスがとられているか、といった点を含め検討が行われることが適当である。

（出典）金融庁ホームページ　https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20220613.html

SSBJによる国内基準の開発は、法令上の枠組み等によるSSBJの位置付けに沿って行う予定

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

今後の予定

		2022年2Qまで	3Q（予定）	4Q以降（予定）
IFRS財団	組織	ISSB設立 ISSB議長、副議長及び6名の理事(計8名)の選任 ※価値報告財団(VRF)との統合は8月1日に延期	**他の理事の選任** **価値報告財団(VRF)との統合を踏まえた諮問グループの設置** **SSAF等の複数の法域による諮問会議の設置**	
ISSB	基準	公開草案の公表	**公開草案コメント期限（7月29日）** **コメントに対する審議を開始**	**2022年末の最終化をめざす** **アジェンダ協議を開始**
FASF	組織	SSBJ設立を決議 SSBJ委員長及び委員（計13名）の選任 SSBJ設立準備委員会設置、審議開始	**SSBJ設立** **サステナビリティ基準諮問会議設置**	
SSBJ	基準	ISSB公開草案の審議を開始	**ISSB公開草案を継続審議、コメント提出** **ISSBによるアウトリーチ**	**ISSBアジェンダ協議の審議を開始**

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

（出典）IFRS財団ホームページより当委員会事務局作成

5. 新ロゴ等のご紹介

新ロゴ

FASF 公益財団法人 財務会計基準機構

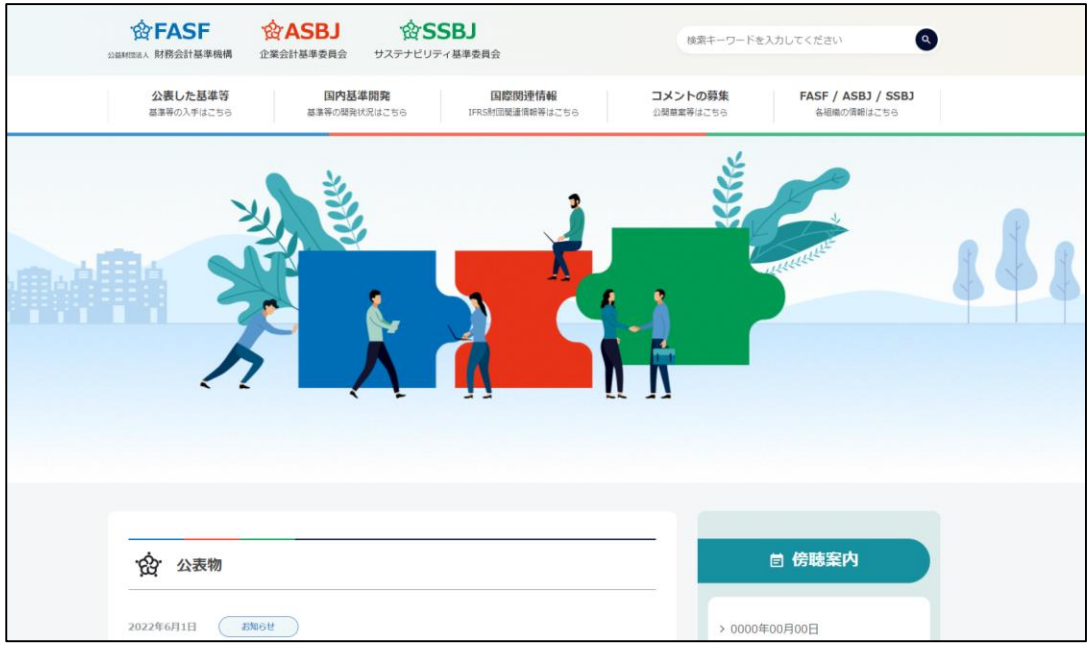
SSBJ サステナビリティ基準委員会

ASBJ 企業会計基準委員会

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

ホームページのリニューアル

- ホームページのリニューアル（URLは従来と同じ）
  （日本語）https://www.asb.or.jp/jp/
  （英語）　https://www.asb.or.jp/en/



ISSB公開草案（産業別を含む）に関する、仮訳、解説資料、解説動画を公開中

https://www.asb.or.jp/jp/ifrs/exposure_draft_ssbj.html

https://www.asb.or.jp/jp/ifrs/exposure_draft_ssbj/2022-2-b.html

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

メールアドレスの変更

- **組織により、「@」の後のドメインが変更になります。**

6月30日まで

組織共通　**@asb.or.jp**

7月1日より

FASF	**@fasf-j.jp**
ASBJ	**@asb-j.jp**
SSBJ	**@ssb-j.jp**

- **兼務者は、複数のアドレスを保有いたします。**
- **案件により、兼務の委員、研究員、職員が、異なるアドレスからご連絡させていただく場合がございますので、予めご了承いただきますよう、お願いいたします。**

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

付録：ISSBの概要

ISSBとIASBの比較

監督	IFRS財団		
基準設定主体	ISSB		IASB
目的	IFRSサステナビリティ基準の開発		IFRS会計基準の開発
所在地	本拠地	フランクフルト	ロンドン
	拠点	モントリオール、サンフランシスコ、ロンドン等の予定。アジアは協議中	
議決要件	ボードメンバーが7名までの暫定措置 議長及び副議長は、ボード・メンバーと協議の上、以下に関する公開草案を公表可 ・ISSBの作業計画案 ・表示基準（全般的要求事項） ・気候関連開示基準 上記以外の場合、公開草案、IFRSサステナビリティ開示基準の公表には、その時点の総員の単純過半数に1名を加えた承認が必要		公開草案又はIFRS会計基準の公表には、以下の承認が必要 ・総員13名以下の場合8名 ・総員14名の場合9名

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

ISSBとIASBの構成

（2022年7月1日時点）

	ISSB	IASB
メンバー数	14名 ✪ 議長・副議長を含め8名選任済み ✪ 9月末までに6名選任予定	14名
アジア・オセアニア枠	3名	4名
米州枠	3名	4名
欧州枠	3名	4名
アフリカ枠	1名	1名
At large※ 枠	4名	1名

※地域的アンバランスを生じさせないことを条件に任意の地域から選任される最大人数

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

ISSBのボード・メンバー

（敬称略、2022年7月1日時点）

ISSBのボード・メンバー		
議長	Emmanuel Faber（仏）	元 Danone CEO
副議長	Sue Lloyd（NZ）	元 IASB副議長
理事	Richard Barker（英）	英オックスフォード大・ビジネススクール副学長兼教授（会計学）
	Jeffrey Hales（米）	テキサス大学教授（会計学）、SASB議長
	Verity Chegar（米）	SASB共同副議長
	Michael Jantzi（カナダ）	VRF理事、Sustainalytics（ESG調査・格付会社）の創業者及び前CEO
	Bing Leng（中）	中国財務省会計規制部門ディレクター
	Ndidi Nnoli-Edozien（ナイジェリア）	Dangote Industries Limited（アフリカ最大の製造業企業）の元サステナビリティ最高責任者

© 2022 Sustainability Standards Board of Japan All rights reserved.

SSBJ

ご清聴ありがとうございました